

科目名 (科目番号)	身体機能発達学 (時間割参照)	教員名	宮崎 泰 小林 聖美	学科等	理学療法	必修	履修年次	1
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
				授業形態	講義	オフィスアワー	非常勤講師室	
授業概要		乳幼児期を中心に心身の機能や形態の変化を解説する。運動機能については歩行までの質的・量的な変化を解説する。摂食・嚥下機能、言語発達、初期の認知機能の発達の概要を解説する。						
目的・目標		目的: 人間の発達過程における変化について理解する。 目標: 人間発達の内、特に小児期の変化について説明が出来る。						
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容				
	1	人間発達とは		到達目標: 横断的研究法と縦断的研究法を理解する。 学習内容: 代表的な発達理論および研究法について、その概要を学習する。				
	2	身体的発達		到達目標: 身体的発達について、小児理学療法との関連で理解する。 学習内容: 乳児期・幼児期・学童期での身体的発達を学習する。				
	3	粗大運動機能の発達		到達目標: 運動発達について、量的・質的な面から理解する。 学習内容: 粗大運動発達過程について学習する。				
	4	自力座位の発達		到達目標: 運動発達過程における自力座位の意義について理解する。 学習内容: 自力座位について多方面から学習する。				
	5	上肢機能の発達		到達目標: 把握機能を理解する。症例を基に上肢機能と姿勢との関連を理解する。 学習内容: 霊長類の把握機能の発達について学習する。				
	6	摂食・嚥下機能の発達		到達目標: 摂食・嚥下について、その発達過程の概要を理解する。 学習内容: 摂食・嚥下に関して、主として口腔器官の働きについて学習する。				
	7	言語機能の発達		到達目標: 言語機能について、その発達過程の概要を理解する。 学習内容: 発声に関して、主として口腔器官の働きについて学習する。				
	8	認知機能の発達		到達目標: 乳児期の外界との関わりについて興味を抱く。 学習内容: 認知の初期発達について学習する。小児理学療法の変遷を解説する。				
成績評価の方法・基準		期末試験(90%)＋レポート(10%)(対面・オンライン共通)						
教科書		事前に授業のまとめを配布する。						
参考図書		生涯人間発達(改訂第2版)		上田礼子 著		三輪書店		
教員からのメッセージ		初回授業でこの授業の組み立てと概要を説明します。各授業に関する質問は、授業終了直後または後日対応します。大学付属病院、小児療育施設で勤務した理学療法士がこの授業を担当します。レポートに関してはコメントを付けて返却します。オンライン授業に伴い授業計画に変更のある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。						